

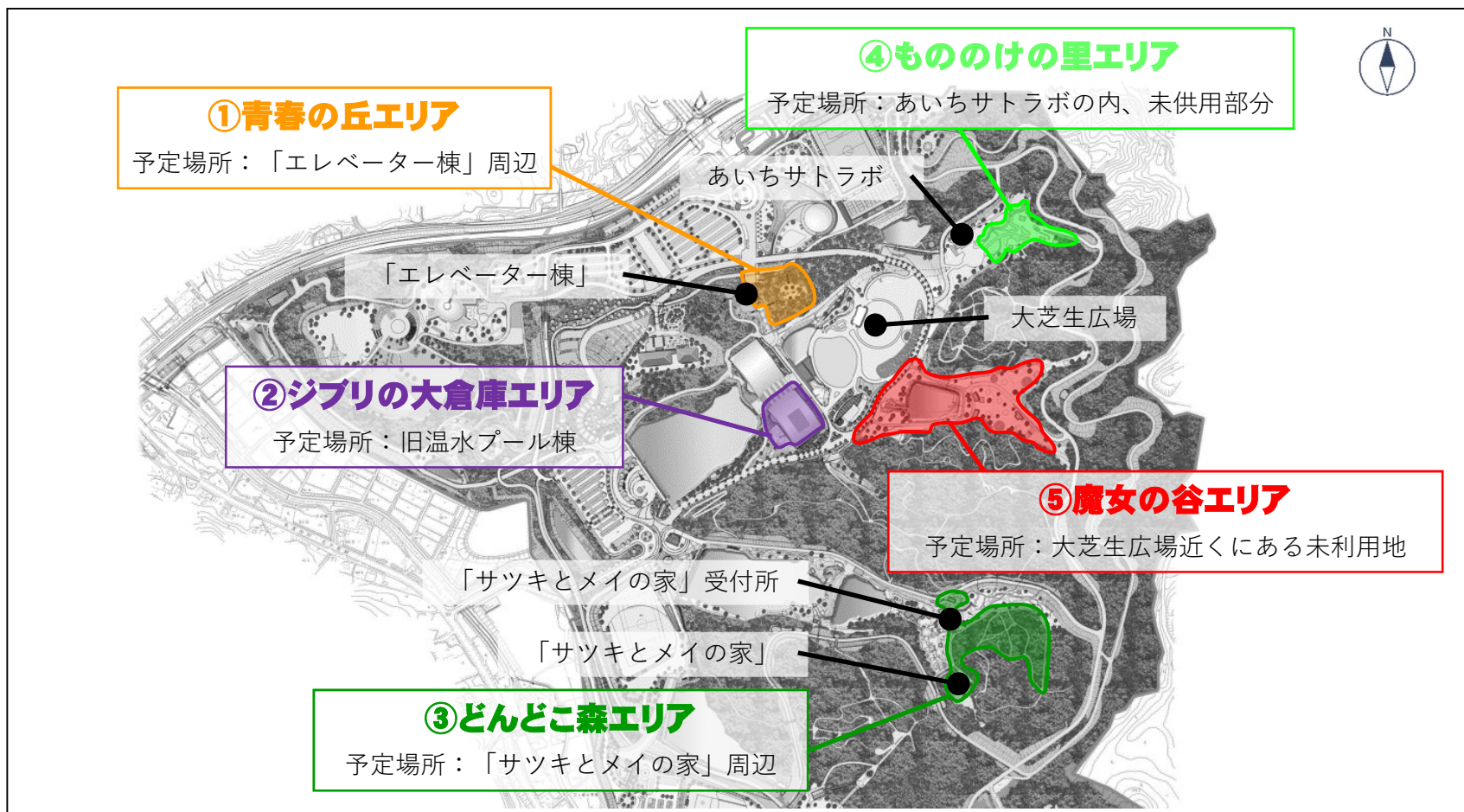
# ジブリパーク整備構想の概要について

平成30年12月 愛知県

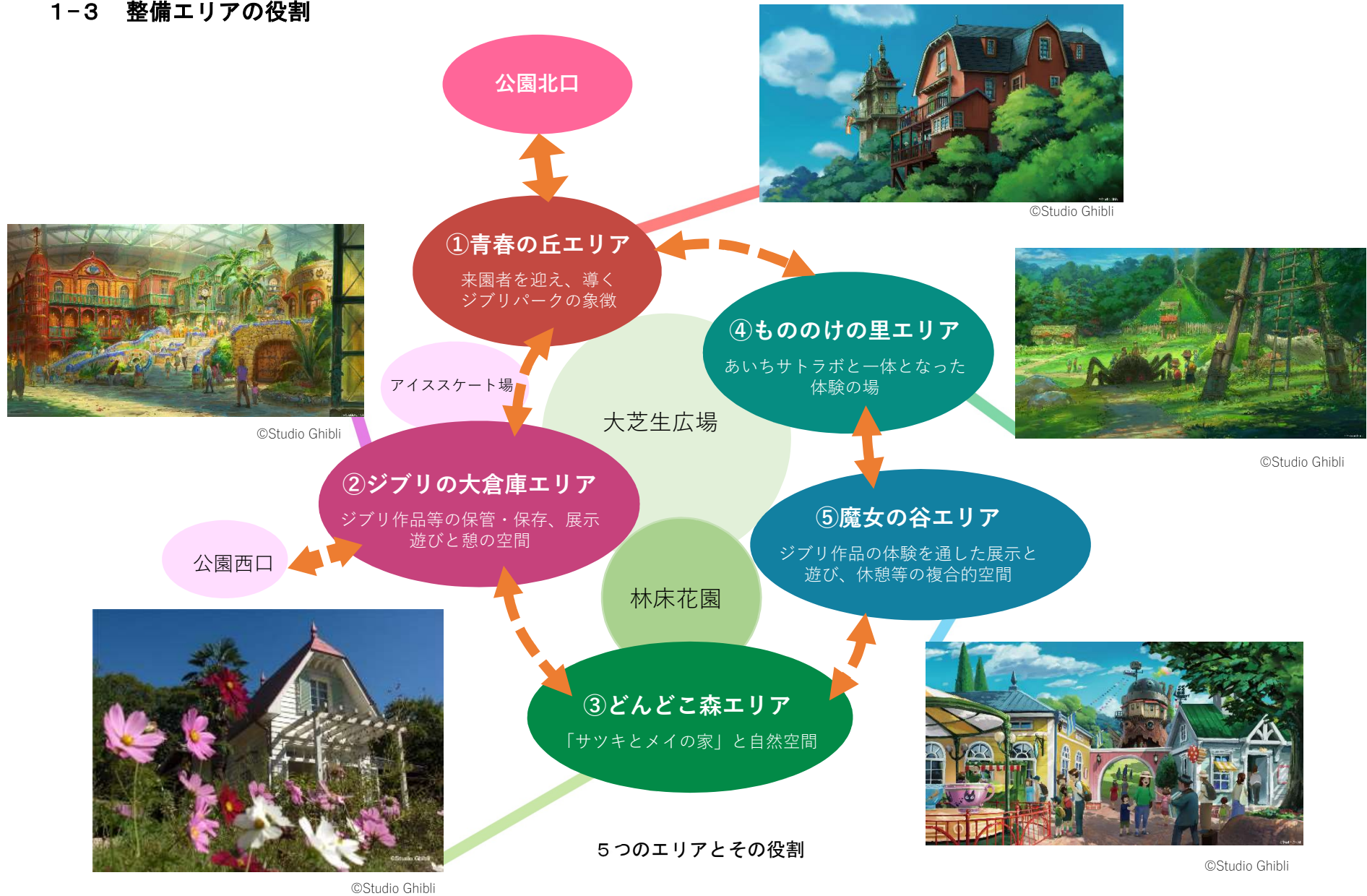
## 1-1 構想の目的

- ①愛・地球博記念公園の理念を継承しながら、その魅力を高め、子どもから大人まで、愛知県民のみならず広く国内外からの来園者に楽しんでもらえる公園とすること。
- ②国内外で愛されてきたスタジオジブリ作品を将来にわたって伝え残していくこと。

## 1-2 整備エリア



## 1-3 整備エリアの役割





①青春の丘エリア



## エレベーター棟

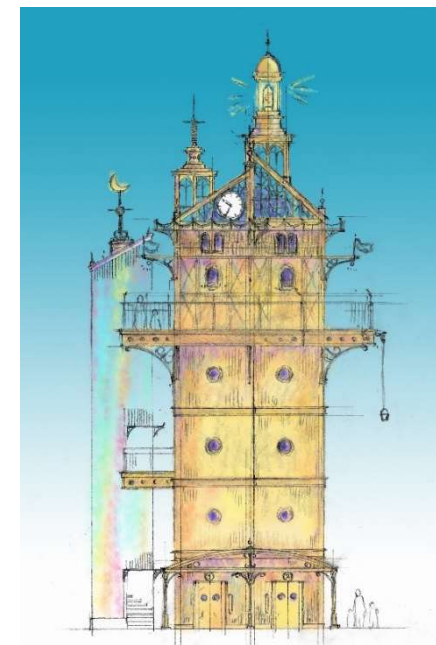
19世紀末の空想科学を整備イメージとし、「エレベーター棟」の改装、足元の広場を改修する。

## 地球屋

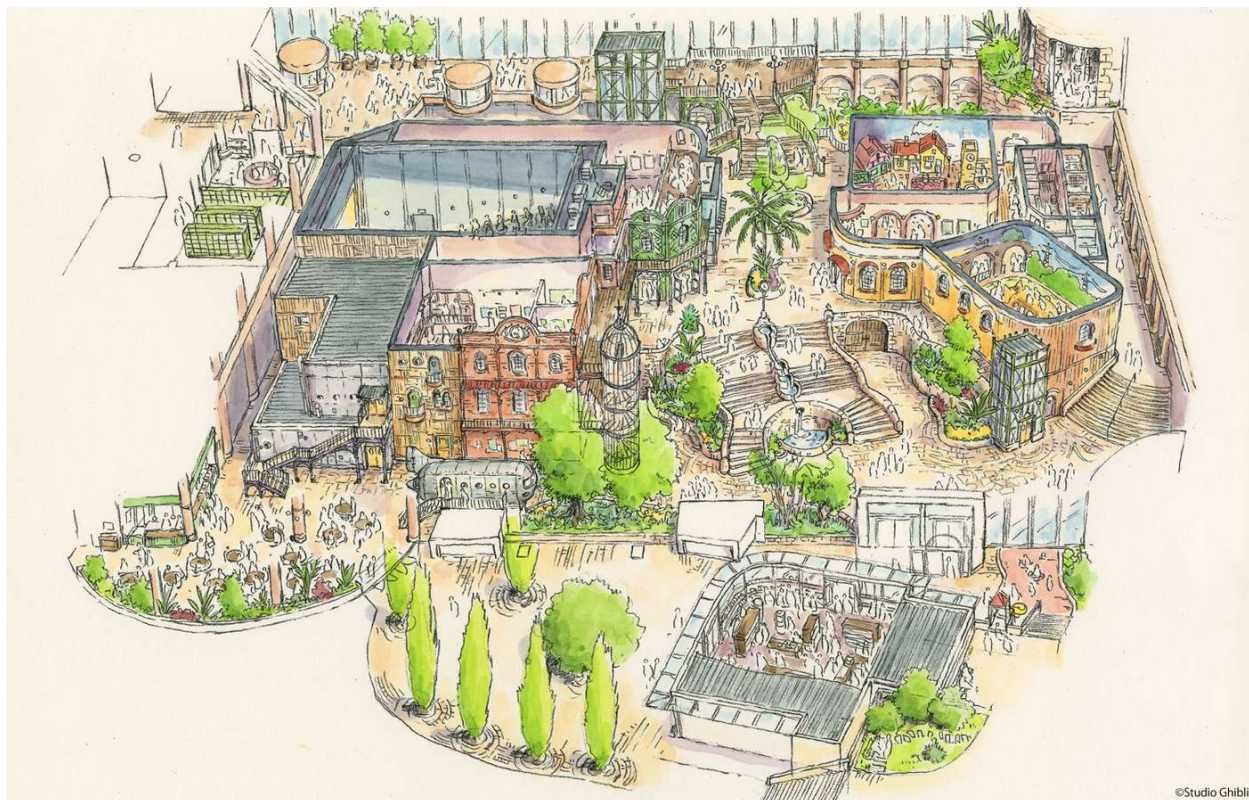
平成初めの住宅地を整備イメージとし、映画『耳をすませば』の「地球屋」、ロータリーのある広場等を整備する。



「地球屋」イメージ



「エレベーター棟」イメージ



「倉庫」らしさと懐かしさを感じる和洋折衷の建築空間を整備イメージとし、常設展示室、企画展示室、映像展示室、遊び場、売店と喫茶、收藏施設等を整備する。



「ジブリの大倉庫」内イメージ

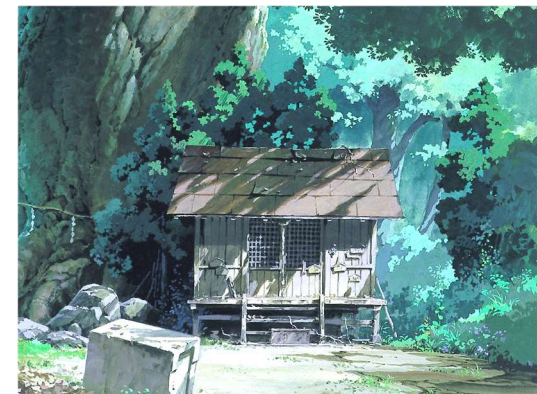


③どんどこ森エリア

映画『となりのトトロ』の「サツキとメイの家」を中心とした昭和の田園景観を整備イメージとし、既存の「サツキとメイの家」に加え、社と散策路等を整備する。



「サツキとメイの家」



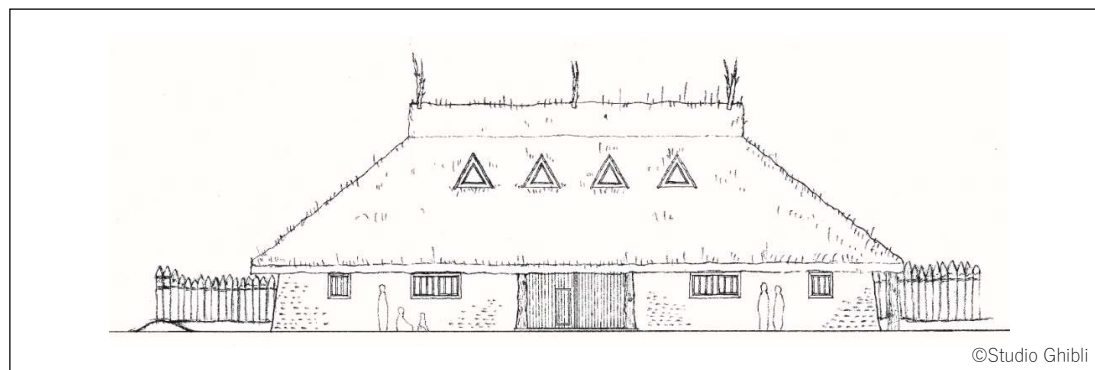
映画『となりのトトロ』の一場面



④もののけの里エリア



映画『もののけ姫』のエミシの村とタタラ場をもとにした和風な里山的風景を整備イメージとし、「タタラ場（体験学習施設）」、「炭焼き小屋」、休憩処等を整備する。



「タタラ場」イメージ



⑤魔女の谷エリア

映画『魔女の宅急便』、『ハウルの動く城』などの北ヨーロッパ風の空間を整備イメージとし、「オキノ邸」と庭園、「ハウルの城」と荒地、休憩・レストラン棟等を整備する。



「オキノ邸」イメージ



## 2 施設整備スケジュール

- ・ ①青春の丘エリア、②ジブリの大倉庫エリア、③どんどこ森エリアは、2022年秋の開業を目指す。
- ・ ④もののけの里エリア、⑤魔女の谷エリアは、①～③の開業から概ね1年後の開業を目指す。

